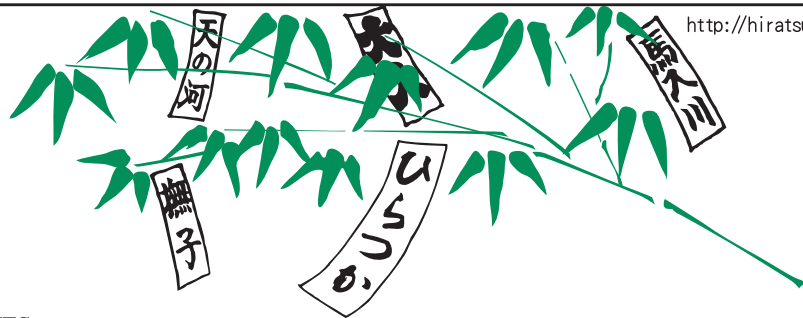




2013～2014年度 国際ロータリーテーマ  
**ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES**  
 「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」



<http://hiratsuka-rotary.jp>

# HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 牧野國雄 ● 副会長 常盤卓嗣 ● 幹事 清水 裕 ● 会報委員長 青山紀美代 (2013～2014年度) E-mail:hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:15～13:30 ● 会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ● 事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

**第2945回例会 2014年5月15日 グランドホテル神奈中 週報第2945号**

## 本日の卓話者ご紹介

日本バレーボール協会  
 公認講師 丸山由美様

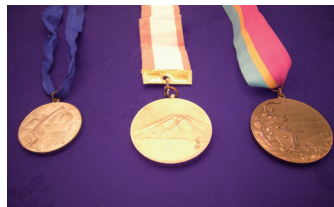


## 卓話

### 「バレーボールあれこれ」

日本バレーボール協会公認講師  
 小田急バレーボールクリニック講師  
 丸山(旧姓江上)由美

バレーボールの3大タイトルは、オリンピック・世界選手権・ワールドカップとなっています。日の丸をつけてこれらの大会に出場させてもらいましたが、皆さんの期待に応えてすべて金メダルに輝くことができませんでした。今日は、ロスアンゼルス五輪の銅と日本開催のワールドカップの金メダルをお持ちしたのでご覧いただければと思います。



お持ちいただいたメダル

### ＜日の丸をつけて試合がしたい＞

高校を卒業後に名門日立に入社。入社してから当然レギュラーになれません。先輩たちの練習は、いつもライオンズマンとしてコートの外で見ることが多く、私は何をしているのだろう、こんなことをするためにバレーをやってきたのではないと思う日々が続きました。

私は、身長が175cmでコートに立つと小さいほうになります。世界レベルは、190cm近くの選手がざらにいます。バレーボールのコートでは、小さい選手であり人一倍練習をしないとそのハンデを克服することができません。当時は、朝から短距離、中・長距離の走り込み、そうして体育館での練習、夕食後の夜は、筋トレを行いました。変な話ですが、筋肉が付いて、チームのプレザーが小さく感じることで女性であるのに嬉しく思ったりしたのでした。日立入社3年目で先輩が引退して主将になりました。世代交代した若い選手で戦った日本リーグでは、4位に転落し当時の新聞には、「日立の伝統が崩れる」などと書かれました。主将として新たなチーム作りに取り組みました。勝つためには、ひとりでは勝てない、みんなが同じ方向を向いているかいないかがそのチームの力量になります。弱いチームは、愚痴が出る。チーム全員が、レギュラーもサブも同じ様にチームの仕事を平等に行い、ベクトルを合せチームの和を重視し、より大きな、高い目標を掲げました。

### ＜全員プレーで得点する＞

コートの中には、6人で20点を早く得点できるチームを目指しました。世界では、日本チームは体格的には恵まれていません。実は、バレーは頭を使うスポーツなのです。相手の前衛の身長を見て、右か左のどちらから攻撃をするかを主将からサインを出して6人がそのフォーメーションプレーで得点をします。実は、フォーメーションは100種類くらいあり記憶力も必要なのです。

### ＜世界で戦ったチームメイト＞

三屋裕子、中田久美、大林素子とのエピソードですが、世界レベルを目指す練習が本気でできなければ、試合には勝てない。その為に男子大学生のチームとの練習試合をよく行いました。厳しい練習ですので突き指、突き腕は当たり前、スパイクを顔面で受けることもしばしばありました。とある日、三屋が「私、練習に出たくない」と言い出し、練習をやめてしまいました。それぐらい過酷な練習だったのですが、合宿所で説得に説得を重ねて、オリンピックに参加したといったこともありました。練習を放棄するという事は、世界を目指すことをやめる

## ＜出席報告＞

本日	5月15日	会員数	61名	対象者	57名	出席者	43(40)名	出席率	71.67%			
前回	4月24日	会員数	61名	対象者	57名	出席者	42(38)名	出席率	73.68%	MUP	6名	計 48名 修正率 78.69%

ということなのです。厳しい練習により自分の感情をより高いところに持っていくことで戦いに抜けるということなのかと今になって監督の狙いがわかりました。中田久美が全日本に初参戦した時のエピソードです。中田が、センタープレーヤーとして、トスをするのですがホールディング？センターラインオーバー？オーバーネット？などの反則判定。その時の中田は、困ってしまい今にも泣きそうな表情をしていました。本来レフリーに抗議することはないのですが、仲間の涙を見た時に主将として我慢が出来なかった。その時のレフリーに「相手チームから何かもらっているの？」と抗議をしました。仲間との歯車を大切にしないでほしいと思いつきの行動でした。こうした仲間とオリンピックでは、金を目指して結果銅となりましたが、チーム全員の力を結集し形あるものと人生においてかけがえのないものを残すことができました。

#### <指導者として思うこと>

現役引退後、小田急の監督に就任しました。人は、ひとり一人持っているアンテナが違う。その選手が良い方向に行くように声をかけることが指導ですが、厳しければよい、優しくすることはダメと一概に言えないと思います。全日本時代に山田重雄監督は、江上はダメだ、ダメだ。声が小さい、元気がないよ。と言われ練習後にそれぞれ体育館の隅に立ち、声を出して、監督が聞こえたというまで声を出す。実は、私が声を出した後に聞こえないと監督が言うのです。実は聞こえていたのです。チームを担う役割になってからは、若い選手に江上を見てみる、江上は凄いぞとほめるのです。私の性格を理解しているからの指導法だったんだということを後に知る機会があり、驚きました。

最後に、今の若い選手、子供たちもそうですが、人としての感情の振れが小さい傾向にあり、喜怒哀楽を表現することが下手だと思うことが多々あります。心の振れは、行動の原動力です。心の振れをバレーボールの指導を通じて、若い人たちに伝えていければと思います。

#### 卓話者プロフィール

まる やま ゆ み えがみ  
丸山由美(旧姓・江上)様

- 1957年生まれ、東京都出身、バレーボール指導者
- 中学生からバレーを始める。東京・松陰高校を経て、1976年に日立に入社。1979年には、日立の主将となり、その後、三屋裕子・田中久美らと共に日立の黄金時代を築いた。
- 1982年から全日本主将となり、世界的なセンタープレーヤーとして活躍した。同じセンタープレーヤーでも三屋が高さを武器としていたのに対して、江上は上手さを武器にしていた。特にタッチなどの軟攻には比類なき上手さを見せつけた。また、身長175cmとセンタープレーヤーとしては決して大きくなかったが、ブロックが上手く、タイミングの良いブロックで何度もチームの窮地を救っている。
- 1984年1月15日のユニチカ戦で、日本リーグ105

試合出場を達成し、それまで水原理枝子を持っていた日本リーグ出場記録を更新した。同年のロスアンゼルス五輪で銅メダルを獲得した後に一度引退。

- 1986年、女子バレーボールチームの小田急ジュノー監督に就任。同年、丸山貴也(日立のコーチ)と結婚。翌1987年に同チームで現役復帰。1988年ソウル五輪に主将として出場後、再び現役引退した。
- 現在は、日本バレーボール協会公認講師、小田急バレーボールクリニック主任講師として後進の指導に当たっている。

#### <幹事報告>

##### ◎ガバナー事務所 臨時休業のお知らせ

期 間：6/2(月)～6/6(金)  
緊急連絡先：高木浩一副幹事(ふじさわ湘南RC)  
株式会社タクト 代表取締役  
TEL：045-261-4751  
FAX：045-261-4755  
takagi@tact-co.com

##### ◎平塚市より4/26に参加しました緑化まつり「みどり基金」への寄付へ御礼状をいただきました。

##### ◎『湘南よさこい祭り2014』協賛のお願い

\*例年30,000円です。

##### ◎次年度地区会員増強・維持セミナー開催

日 時：6/18(水) 14:30  
受付開始/15:00～17:30  
場 所：アイクロス湘南7F  
\*鳥海エレクト・白石副幹事が出席します。

#### <メイクアップ>

6名

馬上 晋・柳川正人・小野 学・滝口勝弘・  
常盤卓嗣・片野之万 会員

#### <本日のスマイル>

20名

#### <ゲスト・ビジター>

1名 丸山由美様(卓話者)

#### <卓話・行事予定>

- 5月29日(木)『家-JIA-』代表兼事務局長  
原田燎太郎様  
「ハンセン病がアジアをつなぐ」
- 6月 5日(木) 下期情報集報告  
12日(木) 第8グループガバナー補佐  
桐本美智子会員  
「ガバナー補佐の一年を振り返って」
- 19日(木) 牧野会長卓話  
26日(木) 新会員歓迎夜間例会 18:00～

#### <市内例会変更>

平塚西 6/25(水)⇒6/22(日) 納会(移動)